

日本社会科教育学会
第72回全国研究大会（信州大会）のご案内（1次案内）
オンライン開催

日本社会科教育学会会長 大澤 克美
全国研究大会実行委員長 松本 康

社会科が日本の学校教育に誕生して約75年になります。社会科は、子どもたちの「できるだけ立派な公民的資質を発展させ」、子どもたちの生きる社会をより良いものにするという使命を持って誕生しました。その間、子どもが生きる地域社会の状況は大きく変化し、そこには様々な課題があります。こうした中で、学校教育に求められているのは、地域の課題に向き合い、自分たちの未来を創造していく子どもをどう育てるかではないでしょうか。今、社会科教育には何ができるでしょうか。

信州では、課題解決に向け、子どもから大人までが自ら行動し、影響し合い、自然環境や地域に働きかける実践的・協働的な「学び」を大切にしてきました。信州の社会科教育の歩みも、まさにこのような「学び」を大切にし、子ども一人ひとりが地域と共に成長する営みでありました。

以上を踏まえ、第72回大会の主題を「地域の課題に向き合う子どもを育てるために社会科教育には何ができるか。」としました。信州の地から、子どもの未来を見据えながら、会員の皆様と社会科のこれからを考える機会になることを願っております。

1. **大会主題** 地域の課題に向き合う子どもを育てるために社会科教育には何ができるか。
2. **期 日** 2022（令和4）年10月22日（土）・23日（日）
3. **会 場** オンラインによる開催（ビデオ会議システム Zoom）
4. **主 催** 日本社会科教育学会 日本教育大学協会全国社会科部門
5. **後 援** 長野県教育委員会、長野市教育委員会、公益社団法人信濃教育会、信州社会科教育研究会

6. 日 程

第1日目 10月22日（土）

8:30	9:00	12:00	13:30	16:00	16:15	17:00
受付	自由研究発表Ⅰ	昼食 評議員会	シンポジウム	休憩		総会

第2日目 10月23日（日）

8:30	9:00	12:00	13:00	15:30
受付	自由研究発表Ⅱ	昼食	課題研究発表	

7. シンポジウム

テーマ : 地域の課題に向き合う子どもと社会科教育

コーディネーター : 松本 康 (信州大学) 加藤 寿朗 (島根大学)

シンポジスト : 伊藤 純郎 (筑波大学) 廣内 大助 (信州大学)

中原 功博 (伊那市立伊那中学校) 磯山 恭子 (国立教育政策研究所)

〔趣旨〕社会科における地域は子どもが生きる生活の場であると同時に、子どもが具体的な社会の課題に向き合い、働きかけを行いながら、公民としての資質を養うことを可能にする場でもあります。防災、新型コロナウイルス、少子化、持続可能性、SDGs など、地域の課題は多くある一方、時間数確保、教員の多忙化などの問題などのために、地域の課題を扱うことは難しくなっています。また、GIGA スクールによる情報化は多量の情報へのアクセスを可能とする一方、子どもが地域の人・もの・ことに直接向かい合うことで生まれるリアリティーを奪いつつあるようにも見えます。社会科は地域の課題にどのように向き合ってきたのか。子どもに地域の課題はどのように見えているのか。地域の課題に向き合うことで、どのような未来を拓くことができるのか。本シンポジウムでは、これらの問題を多角的に検討してゆきます。

8. 課題研究

I. 社会科教育では、地域から戦争の事実をどう伝えるべきか。

コーディネーター : 外池 智 (秋田大学) 高橋 健司 (鳥取大学)

〔趣旨〕戦後 75 年の歳月が経ち、戦争体験を語れる戦争時の年齢を仮に 10 歳とすれば、その人口は全人口の 5% 以下になったと言われています。体験の伝承が難しくなってきた現在、教育現場では、戦争の体験や記憶を残し、継承するために、地域に残る戦争遺跡や資料館、アーカイブなどを活用する取り組みが行われています。今、社会科教育では、子どもたちに地域から戦争の事実をどのように伝えてゆくべきでしょうか。

II. デジタル社会における社会科授業はどうあるべきか。

コーディネーター : 鎌田 和宏 (帝京大学) 戸田 善治 (千葉大学)

〔趣旨〕ICT, GIGA スクールの進展により、社会科授業には質的な変化が生じています。インターネットで生徒が大量の情報に触れられる環境は、経験主義に立ってきた社会科の授業にどのような変化を起こし、どのような見直しを迫るのでしょうか。また、デジタル化された社会において市民の暮らしや政治はどのように変化し、どのようなリテラシーの育成が求められるのでしょうか。

III. 社会科・社会系教科は総合的学習とどのように連携できるか。

コーディネーター : 江間 史明 (山形大学) 永田 忠道 (広島大学)

〔趣旨〕社会科において地域課題をテーマとする時、十分な活動を行うには総合的学習との連携が必要となります。総合的学習で平和、人権、SDGs などの広いテーマを扱う場合も、社会科の内容との連携が必要となります。小・中学校はどのように連携しているのか。「総合的な探究の時間」が始まった高等学校ではどのような連携ができるのか。そこにはどのような問題があるのか。多様な角度から検討してゆきます。

IV. 社会科では、子どもの学習状況をどう見取り、評価するか。

コーディネーター：磯山 恭子（国立教育政策研究所） 宮崎 沙織（群馬大学）

〔趣旨〕子どもの学習状況の見取りや評価のあり方は、時代の潮流や社会の変化とともに、問われ続けています。昨今では、学習指導要領の全面実施に伴い、学習評価及び指導要録の改善等に関する通知に基づき、新たな学習評価が行われることとなりました。具体的な社会科の授業実践を踏まえて、これからの子どもの学習状況の見取りや評価のあり方について、議論を深めていきたいと思えます。

V. 児童生徒の主体性を発揮した学習機会を創造できる社会科教員をいかに養成するか。

コーディネーター：木村 勝彦（茨城大学） 佐藤 公（明治学院大学）

〔趣旨〕学習指導要領の全面実施をむかえ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践が求められています。一方コロナ禍によって、児童生徒の直接的、体験的な学習活動に制約が生じ、児童生徒の主体性を発揮した学習機会の確保には様々な工夫が必要とされています。こうした状況下、社会科教員は教科固有の特色を生かして、児童生徒に協働を、そして変容する社会との接点をもたらす活動機会をどのように作りだしていけばよいのでしょうか。社会科教員に求められる役割について、教員養成のあり方から考えてみたいと思えます。

9. 大会参加の申込みについて

(1) 大会参加費：3,000円

〔注1〕大会参加の事前登録および参加費の振り込みは 6月22日(水) からです。本学会 HP の【大会参加（事前登録）申込フォーム】で事前登録を行い、「参加申込受付番号」を必ず振込用紙に記入して入金してください。

〔注2〕Web での参加申込と参加費の振り込みの両方を済ませてください。両方を終えて大会参加の申込が完了します。片方だけでは事前参加申込となりませんのでご注意ください。

(2) 大会参加の事前登録について

①大会参加の事前登録は、本学会 HP の【大会参加（事前登録）申込フォーム】から行ってください。申込終了後、「参加申込受付番号」が自動送信されます。自動送信メールが送られてこない場合は、株式会社コムラ（E-mail：jass72@kohmura.co.jp）までお問い合わせください。

※参加申込受付業務は株式会社コムラに委託しております。

②会員には大会参加費の振込用紙（事前登録専用）があります。必ず、本学会 HP で参加申込の上、自動返信メールに記載の「参加申込受付番号」をご記入の上、振り込みをお願いいたします。大会参加費の納入締切は、9月15日(木)です。非会員の方は以下の振込先をお願いします。

ゆうちょ銀行 口座記号番号：00860-8-189986 口座名：株式会社 コムラ

※他の金融機関から振り込む場合は、ゆうちょ銀行 ○八九店（089） 当座：0189986

③大会参加事前登録の締切は 9月15日(木) です。事前登録期間が終了した後の参加キャンセルは、大会実行委員会（E-mail：jass72shinshu@gmail.com）に直接ご連絡ください。

④事前登録をされる場合、緊急時の連絡先メールアドレスをご登録ください。全国大会の中止等、緊急時の連絡をいたします。

⑤事前登録を完了された方の参加のキャンセルは、9月15日(木)までは「編集・削除 URL」から可能です。以後のキャンセルは、9月22日(木)までに、直接大会実行委員会にご連絡ください。

⑥事前登録を完了された方には、10月中旬を目処に、登録された住所に『大会発表論文集』を郵送いたします。

10. 自由研究発表の申込み、シンポジウム・課題研究の要旨提出について

- (1) 自由研究発表の申込者および大会当日の発表者は会員に限ります。自由研究発表は、一人当たり二つ(単独1件かつ連名1件、または連名2件)までといたします。シンポジウムと課題研究の発表はこれに含みません。なお、自由研究発表日時等の希望にはお応えできない場合もあります。
- (2) 自由研究発表の申込みは、本学会 HP の【自由研究発表申込みフォーム】にて行います。メールの添付ファイルあるいは FAX 等では受け付けません。締切は7月22日(金)です。
- (3) 『大会発表論文集』の原稿は自由研究は2p、課題研究・シンポジウムは2pまたは4pです。受付は本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】で行います。メールの添付ファイルあるいは FAX 等では受け付けません。様式は昨年度と同じです。本学会 HP で確認してください。
- (4) シンポジウム・課題研究の報告者の方も、本学会 HP の【大会発表論文集原稿アップロードフォーム】に要旨をアップロードしてください。自由研究発表と同じく、締切は8月22日(月)です。要旨ファイルの件名に【シンポジウム】【課題研究○】と入れてください(○は課題研究のI～Vの番号)。
- (5) 共同研究として複数の方が自由研究発表を申込まれる場合、申込みを行う代表者は会員である必要があります。非会員が含まれていても、連名で名前が記されている方はすべて参加申込および参加費の支払いが必要です。【大会参加(事前登録)申込フォーム】より個々に参加申込みをお願いします。申込終了後、「発表申込受付番号」が自動送信されます。自動送信メールが送られてこない場合、大会実行委員会まで直接お問い合わせください。
- (6) 自由研究発表の日時は、大会プログラム(2次案内、9月下旬郵送および大会 HP)に掲載します。
- (7) Zoom を用いて発表を行います。発表時間は20分、質疑応答10分の計30分です。
- (8) 当日の資料は、Web 上に掲載いたします。受付は本学会 HP の【大会発表資料アップロードフォーム】にて行う予定です。資料の容量は5MBまでとし、PDFにして10月10日(月)までにアップロードしてください。参加登録をした方のみ入ることができる Web 上にアップロードをして、大会当日から11月5日(土)の2週間、資料の閲覧を可能にします。

【開始日・締切日一覧】

○自由研究発表申込みの締切	: 7月22日(金)
○参加費振り込み、大会参加事前登録の開始	: 6月22日(水)
○『大会発表論文集』の原稿の締切	: 8月22日(月)
○参加費振り込み、大会参加事前登録の締切	: 9月15日(木)
○資料提出締切	: 10月10日(月)

11. 問い合わせ先

住所：〒380-8544 長野県長野市西長野6のロ 信州大学教育学部内
日本社会科教育学会第72回全国研究大会事務局(担当 篠崎 正典)
E-mail : jass72shinshu@gmail.com
※お問い合わせ等は、メールにてお願いいたします。